

## APRESIA® 導入事例 | 長野県 阿智☆昼神観光局様

# 天空の楽園。日本一の星空のライブ配信を支える APRESIAスイッチとPoEデバイスリセットツール

南信州最大の温泉地である昼神温泉郷には国内外から多くの観光客が訪れる。そのお目当ては日本一とも言われる星空だ。阿智☆昼神観光局では、観光情報の提供やインバウンド向けの多言語対応に向けデジタルサイネージを導入。そして、星空の状況をIPカメラで観光客にライブ配信している。そのインフラとしてAPRESIA SystemsのインテリジェントタイプのPoE給電機能付きApresiaLightスイッチ及びPoEデバイスリセットツールを導入し、万一のIPカメラのトラブル時にもすぐに再起動できるIT環境を整備している。

### 課題

1. 昼神温泉郷には多くの観光客が訪れる。季節の観光情報やインバウンド向けに多言語の情報提供が必要だった。
2. 昼神温泉郷の宿泊客のお目当てである星空の状況を確認できるライブ配信を実施したい。
3. さらに、これらの情報を配信するデジタルサイネージのシステムが極力故障なく、常時配信できるものが望ましかった。

### 解決策

1. 観光客が訪れる温泉郷内のACHI BASEや昼神キヤスクにデジタルサイネージを設置し、観光情報などを発信する。
2. 星空観察が行えるヘブンスそのはらと浪合パークの観光施設にIPカメラを設置し、サイネージに配信する。
3. APRESIAのPoEスイッチとリセットツールを組み合わせ、リモートからIPカメラを再起動できるようにし、デジタルサイネージのシステムのダウンタイムを極小化する仕組みを実現した。

### CLIENT DATA

株式会社阿智昼神観光局



#### 所在地

長野県下伊那郡阿智村智里昼神 338-25

#### プロフィール

村と民間による第3セクターとして発足。阿智村の観光拠点として、観光案内はもちろん、カフェ、バー、レンタルショップ、阿智村セレクトショップの機能をもつ「ACHI BACE」や「昼神キヤスク」を運営する。観光庁が推進する日本版DMO(観光地域マーケティング・マネジメント)に登録している。

<https://www.achibase.com/>

## 星空ナイトツアーで 昼神温泉の宿泊者数がV字回復

長野県の南端、岐阜県に接する山間にある阿智村。南信州最大の昼神温泉郷は、中央自動車道の園原ICから約10分、飯田山本ICからも約10分の交通が便利なところにあり、首都圏や中部圏、関西圏などから多くの観光客が訪れる。阿智川の清流をはさむように温泉宿やホテルが軒を連ね、春には赤白ピンクの三色に咲き分ける「花桃」が楽しめる。

また、昼神温泉郷の宿泊者のお目当ては日本一とも言われる天空の楽園、星空ナイトツアーだ。阿智村は環境省が実施している全国星空継続観察において、2006年度「星が輝いて観える場所」の第1位に認定された実績がある。

現在は年間に15万人が訪れるという星空ナイトツアーだが、当初はゼロからの出発だったという。星空ナイトツアーの仕掛け人でもある阿智☆昼神観光局企画戦略部部長の松下仁氏は次のように話す。「昼神温泉郷には大小約20件の温泉宿・ホテルがありますが、2005年に愛知県で開催された愛・地球博をピークに宿泊客が減少していました。村の人口も減少しており、温泉地としてどう生き残るかが大きな課題になっていたのです」。

そこで、観光事業を通じて村外の人々との交流を促進することにより、村を活性化させる。その手段の一つが星空だった。星空ナイトツアーを行っている「ヘブンスそのはら」は山麓駅から高低差600m、ゴンドラで約15分、標高1400mの山頂駅に到着する。街の光が届かない山頂では照明が消され、無数の星が輝く。「この感動的な光景を都会の人たちにも見て欲しい」と考え、2012年から星空ナイトツアーを開始しました。

初年度の星空ナイトツアーの参加者は約5000人。それから7年が経ち、阿智☆昼神観光局のプロモーションなどの成果もあり、現在は年間15万人に上る。また、阿智村の認知度の調査でも2012年当時はわずか0.1%だったが、19年度は40%に達し、「スタービレッジ阿智」が定着しているという。

2019年5月には世界記録のギネスに挑戦。約3000人の参加者が一斉に双眼鏡を使って10分間、星空から目を離さずに眺め続けた人数がギネスに認定されたという。そして、星空ナイトツアーの人気とともに阿智村の観光客数もV字回復を果



阿智☆昼神観光局  
企画戦略部 部長  
スタービレッジ阿智  
CAPC 事務局長

松下 仁 氏

### PARTNER DATA

東日本電信電話株式会社

#### 本社所在地

東京都新宿区西新宿3-19-2

#### プロフィール

事業内容／東日本地域における地域電気通信業務及びこれに附帯する業務、目的達成業務、活用業務

地域の身近なICT企業として、お客様の課題解決をサポートしています。

<https://www.ntt-east.co.jp>

たしており、「愛・地球博のピーク時に並ぶ年間120万人を数えるまで回復していきます」と松下氏は述べる。

## 星空の状況や観光情報を発信する デジタルサイネージ

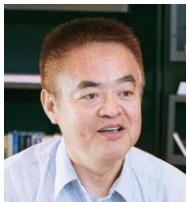
星空が有名になる一方、阿智☆昼神観光局への電話問い合わせが急増した。「今日、昼神温泉郷に行きたいが、星空は見えますか」といった電話がひっきりなしにかかってくるという。だが、阿智☆昼神観光局のあるACHI BASEと星空ナイトツアーを行う「ヘブンスそのはら」や「浪合パーク」とは同じ村とはいえ距離が離れており、標高差もあるので現地の天候の状況が分からない。

また、阿智村の面積は広く、村の西側に位置するヘブンスそのはらが曇っている星空観察が難しくても、東側の浪合パークは晴れていて星空観察が可能といったように、村内でも天候が異なることがあるという。

松下氏は「電話問い合わせに対して、適切に対応したいのですが、現地の施設にいつもスタッフがいないわけではありません。スタッフがいても顧客対応で忙しく、電話に出ることができないこともあります。そこで、リアルタイムに星空の状況を把握できる映像配信システムができないものか検討していたのです」と説明する。

また、昼神温泉郷は国内からの観光客だけでなく、近年は海外からのインバウンド観光客も増えている。国内外の観光客に対する観光情報の提供や外国人観光客に対する多言語の情報提供、万一の災害時の避難場所の案内など、「デジタルサイネージの活用が他の観光地でも進んでいます。そこで、星空の状況をいつでも把握できることを含め、阿智☆昼神観光局としての要件を伝え、システムの提案をNTT東日本にお願いしたのです」と松下氏は振り返る。

## IPカメラをリモートから再起動できる ツールを採用



NTT東日本 長野支店  
第二ビジネスソリューション部  
テクニカルソリューション担当

丸山 清憲 氏

松下氏が伝えた要件とは、次のようなものだ。星空のライブ映像を映すIPカメラは屋外に設置するが、阿智☆昼神観光局にはICTの専門家がいるわけではないので、日々のシステム運用に手間がかからないこと、万一のトラブル時にも迅速に復旧できること、IPカメラは肉眼に近い映像で見られることなどだ。

こうした要件に対し、NTT東日本 長野支店第二ビジネスソリューション部テクニカルソリューション担当の丸山清憲氏は「いくつかのIPカメラで撮影した星空の映像を見比べてもらい、肉眼に近い映像のIPカメラを選んでもらいました」と話す。

そして、IPカメラを収容するPoEスイッチとして「ApresiaLightFM104GT-PoE」を選択、更にIPカメラのトラブル時にリモート操作で再起動できるAPRESIAのPoEリセットツール「AN-Tracker(for IPカメラ)」を阿智☆昼神観光局に提案した。

AN-Trackerは、インテリジェントタイプのPoE給電機能付きのApresiaLightスイッチと併用することで、リセットしたいPoEデバイスのIPアドレスを指定するだけで、そのデバイスが収容されているPoEスイッチ/ポートを自動検出し、対象ポートのみの給電をOFF→ONすることでデバイスを強制的にリブートする仕組みだ。つまり、IPカメラがフリーズした場合であれば、PoEデバイスであるIPカメラの電源を強制的に遮断し、再起動をかけることで復旧することができるのだ。

丸山氏は「NTT東日本の長野支店からリモート操作でIPカメラの状況を確認し、再起動することができます。それにより、ライブ映像配信の停止時間を抑えることができ、デジタルサイネージで映像を見る観光客への影響を小さくできます」と話す。そして、「AN-Trackerは、PoEリセット機能のみであれば無償ライセンスで利用できることや、ApresiaLight シリーズは5年間の無償保証が付いていることなどを評価し、阿智☆昼神観光局に提案、導入しました。」と付言する。

## 画面上のアイコンで目的の IPカメラを簡単にリセット

阿智☆昼神観光局では、星空ナイトツアーを実施しているヘブンスそのはらと浪合パークの2カ所にIPカメラを設置。そして、阿智☆昼神観光局のACHI BASE、昼神キヤスク、ヘブンスそのはらと浪合パークの観光施設の4カ所にデジタルサイネージの大型ディスプレイを設置し、NTT東日本のフレッツ・VPNワイドで接続している。

星空ライブ配信システムは2019年3月から稼働し、IPカメラの不具合も発生していないが、「冬場にはウインターナイトツアー

が実施されます。IPカメラを設置している屋外は氷点下になるので、トラブルが発生する可能性が夏場よりも高くなります。万一の障害時にもスタッフの手をわずらわせることなくリモートから対応してもらえるので、期待しています」と松下氏は述べる。

AN-TrackerによるPoEリセット時の運用手順も工夫している。通常はリセットするPoEデバイスのIPアドレスを指定する手順だが、APRESIAではヘブンスそのはらと浪合パークのそれぞれのカメラリセットのアイコンを作成し、パソコン画面上に表示するようにした。その結果、「このアイコンをクリックするだけで目的のIPカメラを簡単にリセットできるので、迅速な対応が可能です」と丸山氏は評価する。

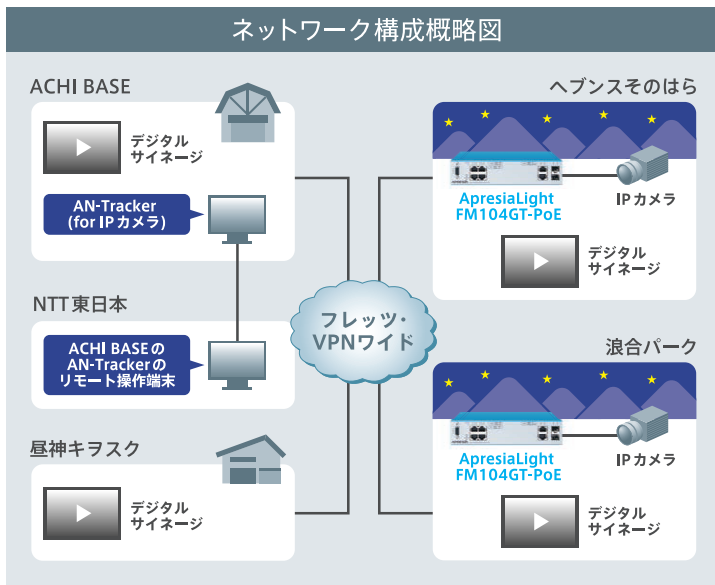
阿智☆昼神観光局では、IPカメラとデジタルサイネージの利用拡大も今後の検討事項になるという。例えば、ヘブンスそのはらは10月中旬から11月中旬にかけて、遠く南アルプスまで広がる雲海が眺められる「雲海ハーバー」というイベントを実施している。「こうした雲海の状況や、都会では味わえない豊かな大自然の魅力をIPカメラやデジタルサイネージを活用してアピールしていきたいと考えています」と松下氏は今後を展望する。

PoEリセットツール「AN-Tracker」とApresiaLightスイッチにより、IPカメラに限らず、PoEデバイスのリセットを行うことができる。APRESIAでは阿智☆昼神観光局の星空ライブ配信を支えるとともに、PoEデバイスの運用管理ツールとして同様の課題を持つ企業や自治体に提案していく考えだ。

アプレシアシステムズ 田中 伸典      NTT東日本 丸山 清憲 氏      阿智☆昼神観光局 松下 仁 氏      阿智☆昼神観光局 市村 潤 氏



阿智☆昼神観光局 宮澤 尚美 氏      NTT東日本 櫻井 麻貴 氏



APRESIA Systems 株式会社

〒104-0045 東京都中央区築地二丁目3番4号 築地第一長岡ビル8階  
☎(03) 6369-0400 <https://www.apresia.jp/>

CAT.NO.CS003

・APRESIAは、APRESIA Systems株式会社の登録商標です。  
・フレッツ・VPNワイドは、東日本電信電話株式会社の登録商標です。

Printed in Japan 2019-08